

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス まほろ		公表日		令和7年 12月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	4	生活介護施設と空間を共有していますので仕切り等で場面に応じて環境設定しています。車椅子や周辺機材配置に随時配慮しています。	玄関からの通路やトイレ等の動線は生活介護施設と共有する時間がありますので、安全に利用できるような配慮が必要です。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	主に重心児対象支援のため、医療やリハビリ職員による支援充実を重視しています。また、障害特性や異年齢児に大きな差があるため適宜配慮しています。	生活支援だけでなく、活動やコミュニケーション等、個別の配慮が必要な児が殆どのため、子どもを長時間待たせないための配慮が必要です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	設計から重心児に対応した工夫がされており、フラットな空間と安全性が配慮されています。手洗い場やトイレ等も車椅子で利用しやすい設計です。自分で荷物を取りに行けるように棚の位置や動線確保等配慮しています。	まだ子供自身がおもちゃを取りに行きづらいです。新設から経年に応じて備品等増える事も予想されます。継続した環境整備が必要です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日職員全員での清掃を終業時に実施しています。また、重心児は体温等環境に左右されやすい傾向があるため外気と空調管理には配慮しています。	現在床暖房設備はないですが、冬季は床に近い生活をする子供が多いため、ホットカーペットの上にマットを設置する等配慮しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	4	特定の音に対して不快に感じる子供も想定されるため、必要に応じて空間を変え等の配慮を随時行っています。	空間を分離する事による職員配置や安全上のリスクも考慮しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	個別支援計画と事業計画と考慮しながら必要に応じて進めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者様の評価表を実施後、職員会議によりニーズについて検討し改善できるように進めさせていただきます。	保護者様に日々の業務について情報共有していただくための情報公開に努めています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議では個々の職員が意見を共有できるように努めていくとともに、定期的に管理者による個別相談も進めています。	小規模な事業所故、情報共有が疎かになる懸念もあるため、日々のミーティングを大切にしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4	現在未達成です。	第三者評価制度はコスト面等の理由で現在依頼していません。必要に応じて検討させていただきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎週火曜日朝礼後に15分のウェブ研修を実施しています。内容は利用者理解・権利擁護・業務改善他多岐にわたって学んでいます。また、研修日を設けて職員研修を実施して知識を深める取り組みをしています。	全体研修は実施していますが、個々の職員の資質向上のための研修プログラム設定が今後必要です。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	新基準に照らし合わせた支援プログラムを作成しています。法人ホームページにて公開させていただきます。	新基準は国の標準的な基準ではありますが、子どもから大人になるまでの個々の子どもたちの支援は無敵だと思えます。法令順守の中で更なる改善が求められます。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	個々の利用児に合わせて出来るだけ重層的なアセスメントを進めています。個々の支援計画と一日の活動・週間計画・年間計画とつながるような計画に努めています。	放課後等デイサービスとは小学1年生から高等部3年までの12年間の長い支援です。放課後等デイサービスの在り方も日々多機能化していく中で、個々の支援計画と集団プログラムの整合性が課題です。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	重心放デイは医療等他専門職とのチームで支援しています。医療専門職員も計画について参画しています。	事業所の職員だけでなく、並行利用している他事業所やリハビリ担当者、または特別支援学校担任先生との目標の共有が必要と思われます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	日々利用していただく利用児の実施記録と個別の支援計画とリンクさせています。支援計画を意識した支援を配慮しています。	支援計画や専門的支援計画に記載されていない情報や課題についての支援が疎かにならないように、日々計画の見直しが必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		放デイでの出来事は、子どもの一日の、ほんのわずかな一片でしかありません。無知の知を日頃より意識し、奢らない気持ちが必要だと思います。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	放デイ支援とは、日々子どもたちと対座する直接的支援だけでなく、ソーシャルアクションまでも繋がるソーシャルワーク技術が必要だと思います。近隣放デイとリハビリ事業所、相談事業所、特別支援学校との連携に努めています。地域連携に関して、将来目標とされる生活介護事業所と連携する、地域の公共施設や地域住民や企業、学童とも関わりを持てる機会を検討しています。	地域の中で、重度障がいをもつ子どもたちとの関係を築ける社会資源はまだ僅かです。事業所としてコネクトしたくても地域社会の中でノーマライゼーション・社会的包摂はまだ難しいと感じています。今後地域社会の中で地域独自のネットワーク作りが必要だと思います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	前月に職員会議にて計画立案しています。各々専門職スタッフの意見を取り入れながら作成しています。	重心児の子どもたちが普通の子どもらしい放課後生活をするためのノウハウは足りておらず限りなくプログラムの改善が必要に感じています。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	「はじまりの会」等構造化したプログラムと変化ある日々の活動プログラムを意識しています。	今年度は定期的に地域の協働センターを利用して活動しています。日々改善していく意識が必要と思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	活動の中で、個別活動と集団活動を意識したプログラムを実施しています。中でも理学療法士の個別支援や日常生活動作の向上等支援の中で出来るだけ取り入れています。	放課後デイサービスは短時間利用となる利用児のケースもあり、集団と個別支援の優先順位を考慮しながら取り組む事が難しいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	始業時のミーティングでは利用児の確認と活動内容・送迎・食事等確認するとともに、役割分担を確認しています。	限られた時間の中で難しい課題等の意見交換する時間が不足する事があります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	終業時に各個別利用児についての記載の確認をしています。前日のミーティングまでに課題があった場合整理しています。	各利用児宅までの送迎担当職員が打ち合わせに参加できない事が多く、後日朝のミーティングに後手にならないように配慮する必要があります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	現在パソコンと各種情報をリンクさせたシステムを使用しています。それ以外の情報も出来る限りデータ化するとともに、ミーティング等で情報共有化して支援計画の見直しをしています。	送迎時に何気なく話した学校の様子やご家庭の困りごと等共有化できていないと感じます。今後メモから具体的な支援に繋げる工夫が必要と感じます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	法令順守して定期的に職員間でケース検討を進めています。また、計画相談と支援計画と時差があるため適宜見直しをしています。	利用日数が限られた子どものモニタリングは、毎日利用される子ども以上に難しく感じています。他事業所・学校・ご家庭との情報共有が課題です。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	あたりまえの子どもの在り方を目標として活動計画をすすめています。	地域社会の中で「放課後等デイサービス」の枠に固執する争なく、個々の子どもの全体像をイメージしながら主体的に成長し活動に参加していただくような、4つの基本的活動を徹底する事は難しい課題が多々あります。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	学校や保護者様と連携しながらコミュニケーション支援をすすめています。活動の中で言葉だけでなく全身を把握した本人理解の支援に努めています。	生活や活動の中で「イエス」「ノー」の選択する機会もまだ僅かです。リスクや集団行動との調整を勘案しながら取組んでまいります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発言が定期的に参加するように努めています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3	他法人の社会福祉法人医師にお願いして定期的な健康管理につとめています。また、地域の関係機関との会議等には出来るだけ参加して連携つくりを努めています。	地域での自立支援連絡会等の児童部門ネットワークが課題です。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	日頃下校時には担任先生より健康状態や活動内容について確認させていただいています。	万が一の災害時に学校と如何に連携して安全な避難が出来るか。または、被災時の常備薬の受け渡し等更なる連携が必要と思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	必要に応じて児発言等との情報交換をしていく体制です。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	個人情報配慮しながら、利用者・ご家族に必要なとされる情報は提供しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4	地域療育等支援事業等を利用して定期的に運動機能中心に機能訓練担当者からカンファレンスや指導の時間を設けています。	他機関との連携については日頃より十分とは言えず、今後外部との連携や研修の必要性があります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	不定期に「まほろ」学区の小学校放課後児童クラブに訪問しています。子どもたち同士ふれ合いの場を設けています。	地域の放課後児童クラブも大勢の低学年児童を受け入れているため交流の難しさを感じる時もあります。放課後児童クラブ体制への支援も必要かと思えます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1	参加する機会があれば積極的に参画したいと考えています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日頃より連絡ノートや送迎時に相談していただく姿勢に努めています。必要に応じて個別に相談していただける雰囲気や支援計画等でご案内させていただいています。	はたらく保護者様も以前より多くなり、家族支援の必要性が増える中、相談していただける時間等の確保が課題です。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	市内の放課後連絡会等や育成会等から発信される保護者様対象のイベント案内は出来る限り案内しています。10月には生活介護施設利用の保護者様との交流会を実施しました。	今後も地域の様々な団体と連携して保護者支援のプログラム等のニーズについて確認していきます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	法令遵守を徹底した説明・利用契約に努めています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	法令に遵守したアセスメントから支援計画の取り組みをしています。相談支援事業所や学校他サービス事業所での取り組み等の情報収集にも取り組んでいます。	利用定員や職員体制、活動スペース等、様々な課題があり、はたらく保護者様のニーズや利用日数や時間を増やしたいニーズには十分応えられなくて今後検討していきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	生活動作の支援、機能訓練、医療的ケアについて等、アセスメントと同時期に作成見直しが行われています。個別支援計画等の見直しと並行して更なる整備が必要です。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	個々の相談機関を通じたアセスメントからの支援計画を中心に、日頃から連絡ノートやメール・送迎時等に日々の家族間のニーズ等把握に努めています。	多くの利用児が複数の放課後サービス等利用しています。他の事業所と連携しながら相談を行う必要があります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	学齢時なので父母だけでなく、祖父母やきょうだい等のニーズや変化等の把握にも努めています。	複数の事業所を利用している方が多い現状から、他事業所との共同した交流会等の計画等検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	玄関に苦情受付担当者を提示するとともに、法人から独立した苦情相談窓口の連絡先を提示しています。	個別に利用児の意見や相談を伺う機会は設けていません。職員が適宜相談を受けていますが、受付しやすいメール等整備も検討する必要があります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	開設間もない事業所ですので、個人情報等配慮しながら外部への情報発信は取り組んでいます。利用対象でないご家族にもプログラム等公開していきます。	日々子どもたちの写真の記録していますが、玄関に掲示している写真やSNSには選択させていただいた写真のみです。日頃の映像を気軽に閲覧したいニーズに関しては今後課題です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	基本的にオープンフロアでの支援が中心です。トイレ介助・利用児との会話・職員同士の会話等今後配慮が必要だと思います。	他機関、他事業所との連絡調整を日頃より行っていますが、必要以上の個人情報連絡について注意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	日頃の活動や生活の中で、コミュニケーションについては言葉だけでなく絵カード等工夫しています。	利用児への支援計画等の説明は具体的な本人理解が出来ていない子どもが多いと思います。今後さらに分かりやすい説明等改善の必要があると思います。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	利用児と施設近隣のお宅や事業所を活動中に散歩して、あいさつや交流に努めています。	継続して地域に開かれた事業所の運営を図るためには、行事への招待や回覧板、学生やボランティアの受け入れ等の検討が必要です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	施設玄関に各種マニュアルを掲示して公開しています。定期的に各種訓練を実施しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	法令を遵守して、風水害時・地震・火災・感染症等のBCP作成に努めています。月一回の避難訓練の他、感染症や緊急時の対応訓練等を準備しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	利用前のアセスメント時に看護師による医療的な配慮について確認する機会を設け、個別にマニュアルを作成しています。	重度障害児の利用児に対して体調の急変等日頃より予想されます。保護者様を通じて今後も受診時に変化等ありましたらご連絡お願いします。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	重篤なアレルギーによる指示書のある利用児は現在在籍していません。保護者様と昼食メニューを事前に確認してアレルギー対象の食材等について確認させていただいています。	更なる改善と訓練が必要と考えています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全マニュアルを整備し、放課後の活動や生活・送迎時の配慮について整備しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	まほろ玄関に現在安全計画について公開しています。個別には配布していません。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ヒヤリハットは怪我の有無にかかわらず記録に努めています。朝夕ミーティング時に報告して予防策について全体で確認しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	施設内で虐待防止委員会を設定して定期的に運営しています。身体拘束等の日頃の支援中での事例等確認しています。また、虐待について、権利擁護について、職員自身のストレスチェックについて研修を実施しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	現在は身体拘束についての事例はありませんが、車椅子上での転倒防止。接触防止のためのベルト使用等、日頃より確認しています。	コンプライアンスには遵守していますが、重度障害児の利用児に対して更なる改善と訓練が必要と考えています。	